

第4章 林業きのこ栽培の経営診断予備調査表

1. きのこ栽培経営診断予備調査表

I. 農業経営診断予備調査表(きのこ栽培)1-1

年 月 日現在

診断希望事項					
1 経営の概要	所在地	〒 TEL		従業者数	家族従業者 男 人 女 人 雇用従業者 男 人 女 人 パート(8時間換算) 男 人 女 人 その他() 男 人 女 人 計 男 人 女 人
	経営者氏名	(年齢)		作業時間	①1日当り 時間 ②年間 時間
	就農年数	年(うち認定農業者 年)		休日数	①月 日 ②年間 日
	経営の特徴	①認定農業者②エコファーマー③指導農業者 ④その他()		後継者	①有り ②未定 ③無し
	認定年月日	第一回認定 H 年 月 日 第二回認定 H 年 月 日			
	経営の業態	①単一経営 ②複合経営()			
	収入・所得	収入(万円) 所得(万円)			
	2 生産部門★該当に○印を	(1)きのこ類	①乾燥しいたけ②生しいたけ③えのき⑤まいたけ ⑥なめこ ⑦その他()		(5)栽培方法等の特色 ①原木栽培 i. 原木種類 ・クヌギ、・コナラ、・ミズナラ、・その他() ii. 原木調達方法 ・自己所有の山林、・森林組合、・農協、 ・木材業者、・その他() iii. 植菌(接種)方法 ・孢子接種法 ・菌糸接種法
(2)耕種		①稲作 ②麦作 ③雑穀作 ④豆類作 ⑤いも類作 ⑥飼料作 ⑦工芸作物作() ⑧施設野菜作 ⑨路地野菜作 ⑩果樹作 ⑪施設花き作 ⑫路地花き作 ⑬その他()			
(3)畜産		①酪農 ②養豚 ③肉用牛 ④養鶏 ⑤養蜂 ⑥その他()			
(4)養蚕		①養蚕		②菌床栽培 ・自家培養型栽培 ・菌床購入型栽培	
(5)加工		①農産物加工(品名) ②畜産物加工(品名) ③林産物加工(品名)			
3 農業経営の現状と計画	◇作目・部門	経営規模項目	本数、面積、生産量	◇農業経営の課題	
	(1)きのこ類			(1)安全安心への取組 ①有機JAS認証 ②農業のISO9000、14000、22000認証 ③JGAP認証 ④減農薬・減化学肥料栽培 ⑤その他特徴のある栽培方法	
	・原木栽培	・年平均植菌ほだ木数	本		
		・稼働ほだ木数	本		
		・稼働年数	年		
	・菌床栽培	・所有培地数(1.2kg袋)	袋		
	・年間栽培培地数	袋			
(2)米	水田面積		ha		
◇経営耕地	地目	面積		(2)トレーサビリティシステムの構築	
①所有地	畑・水田・他()	ヘクタール		①作業記録・日誌の有無	
②借入地	畑・水田・他()	ヘクタール		②栽培工程毎の記録(時間・内容・方法等)の有無	
◇作業受委託	作業内容	面積等		③防除・施肥記録(名称・使用量・倍率等)の有無	
◆機械・施設	型式・性能	台数・面積等		◆生産方式の特色	
①乾燥舎				(1)原木栽培	
②人工ほだ場	雨よけ施設付き			①自然型(林内)栽培 ②ハウス型栽培	
③散水施設				③多植型栽培 ④集中ホダ化型栽培	
④乾燥機				(2)菌床栽培	
⑤軽トラック				①森産業型 ②北研型	
⑥ほだ木運搬車				③ジャパンアグリテック型	
⑦発電機	1,200W			◆生産方式の問題点	
⑧チェンソー					
⑨培養舎					
⑩培養舎パイハウス					
⑪建物施設					
⑫加工施設					
⑬その他					

I. 農業経営診断予備調査表(きのこ栽培)1-2

年 月 日

5 販売関係の現状と方針	(1)消費客のニーズ把握 ①して②していない (2)対象とする客層を ①決めて②決めていない (3)直販の場合の顧客名簿①有 ②無 (4)販売計画 ①有 ②無 (5)計画の達成度 ①高い ②普通 ③低い (6)達成しない理由 (7)代金 ①農協経由 % ②現金 % ③その他 % (8)販売上の問題点	(10)農産物の部門別・生産量と販売額
	(9)今後の販売戦略の課題	(11)流通(販売)先の割合(%) ①農協 ②契約栽培 ③スーパー・外食 ④直販・朝市等
6 財務会計	(1)複式簿記(パソコン活用 有・無) (2)借入金の内訳 千円 ①政府系金融機関(公庫) 千円 ②農業経営基盤強化資金(スーパーL資金) 千円 ③農業経営改善資金(スーパーS資金) 千円 ④農業近代化資金 千円 ⑤経営体育成強化資金 千円 ⑥その他 千円 (3)利益計画 有・無	(4)資金の運用と調達 千円 ①借入金残高 千円 ②元金償還額 千円 ③税引後利益 千円 ④原価償却費 千円 ⑤キャッシュフロー③+④ 千円 ⑥運用余剰金⑤-② 千円 (5)設備投資計画 有・無 ①借入金予定(返済 年) 千円 ②年間元金償還額 千円
	(7)人事・労務関係 (1)人手 ①十分 ②普通 ③不足 (2)労働条件通知書(雇用時) (3)国民健康保険(加入) 有・無 (4)農業者年金(加入) 有・無 (5)労災保険(5人以上) 有・無 (6)雇用保険(5人以上) 有・無 (7)小規模共済保険 有・無 (8)家族経営協定 有・無	(9)労働力(人数) ①家族(うち女性 人(人) ②常時雇用(6ヵ月以上の契約) 人(人) ③臨時雇用(6ヵ月以内の契約) 人(人) (10)労働時間(年間常時雇用以上) 現在 目標 ①家族 時間 時間 ②常時雇用 時間 時間
8 経営管理	(1)経営改善計画の取組状況	(2)経営上の問題点(該当に○印) ①経営者の高齢化 ⑦作業システムの不備 ②担い手の確保難 ⑧経営管理が弱い ③生産方式の改善 ⑨利益率の低下 ④後継者難 ⑩無減農薬の対応 ⑤販売力が弱い ⑪有機栽培の対応 ⑥生産コストの増加 ⑫各種マニュアルの不備
9. 所見		

II. 診断調査表(きのこ栽培)1-1

年 月 日

1. 農業経営の沿革			
(1)就農時の経営規模と内容	①ほだ木数	本、袋数	袋 ②従業者数 人
(2)現在の経営規模と内容	①ほだ木数	本、袋数	袋 ②従業者数 人
(3)現在の経営の特徴			
①			
②			
③			
2. 経営コンセプト			
(1)食の安心・安全を基本コンセプトにして省力化、効率化経営をビジョンとしているか。			
		①いる	②いない
(2)消費対象客を定めて栽培しているか。			
		①いる	②いない
(3)無・減農薬・有機栽培をしているか。			
		①いる	②いない
(4)ISO9000、22000の認証を目指しているか。			
		①認証済み	②いる ③いない
(5)HACCP、JGAPの認証を目指しているか。			
		①認証済み	②いる ③いない
(6)栽培履歴JASの認証を目指しているか			
		①認証済み	②いる ③いない
3. 将来構想、中長期目標			
(1)5年後の目標			
(2)10年後の目標			
4. 作目・品種部門			
作目	種目	品種	生産方式
きのこ	乾しいたけ		耕法
	生しいたけ		生産量
	えのきたけ		減・無農薬
	ぶなしめじ		
	まいたけ		
	なめこ		
米			
野菜			
その他			
6. 作目・品種、立地条件等の問題点			
7. 販売・受注状況・販売活動の特色			
品 質	販売先例示	販売先	受注(契約栽培等)
しいたけ 秀	農協出荷 80%・ホテル 20%		
しいたけ 優	スーパー 80%・直売所 20%		
しいたけ 良	食堂チェーン 100%		
米	インターネット宅配 100%		
野菜	直売所 100%		

Ⅱ. 診断調査表(きのこ栽培)1-2

年 月 日

8. きのこ生産・技術・設備状況及び目標						
	5年後	現在	1年前	3年前	5年前	備考
(1)稼動ほだ木	(本)	(本)	(本)	(本)	(本)	(本)
(2)年間栽培袋数	(袋)	(袋)	(袋)	(袋)	(袋)	(袋)
(3)従業者人数	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
(4)ほだ場	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)
(5)培養舎	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)
9. 安心きのこ生産マニュアル						
(1)農業、食品添加物取り扱いマニュアルの有無				①有り	②無し	
(2)施設・器具・機材の消毒マニュアルの有無				①有り	②無し	
(3)原料取り扱いマニュアル・規格基準の有無						
①原木、オガコ、チップ				①有り	②無し	
②培地基材(コーンコブ、コットンハル等)				①有り	②無し	
③栄養材(米ぬか、フスマ、コーンブラン、大豆油粕等)				①有り	②無し	
④その他栄養材、添加材				①有り	②無し	
(4)栽培に使用する水の水質基準の有無				①有り	②無し	
(5)増収剤の取り扱いマニュアルの有無				①有り	②無し	
(6)封ロー、スチロール栓の取り扱いマニュアル				①有り	②無し	
(7)農業・除草剤の散布マニュアル				①有り	②無し	
(9)選別・包装工程のマニュアル				①有り	②無し	
(10)保管・出荷工程のマニュアル				①有り	②無し	
10. きのこ栽培技術について						
①きのこ栽培技術の先進地事例視察・研究の有無				(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
②きのこ栽培技術体系の有無				(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
③きのこの栽培の収量と労働時間の基準				(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
④きのこの栽培費用と労働時間と収量による経営計画				(ア)有	(イ)無	(ウ)検討中
11. 労務管理の実施状況(下記の実施程度に○印をつけてください)						
①労働時間の短縮・合理化	◎	○	△	×		
②担い手確保や後継者養成	◎	○	△	×		
③従業者への技術指導・研修	◎	○	△	×		
④従業者の作業配置の適正化	◎	○	△	×		
⑤従業者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×		
⑥雇用者の労働報酬の決め方	◎	○	△	×		
⑦休日の決め方	◎	○	△	×		
⑧労災保険への加入	◎	○	△	×		
⑨農業者年金への加入	◎	○	△	×		
⑩労働安全衛生管理	◎	○	△	×		
12. 所見						

Ⅲ. きのご栽培経営状況調査票1(乾燥しいたけ・原木栽培)

区 分	単位	標準値	調 査			増減率	
			平成 年	平成 年	平成 年		
経営の概況	年度始め世帯員数	人	3.52				
	培養用地面積	m ²	4,159				
	発生用地面積	"	4,300				
	年初め保有ほだ木数	10本	1,428				
	年間使用ほだ木数	"	1,078				
	出荷数量	kg	352				
	投下労働時間	時間	632				
		家族	"	580			
	雇用	"	52				
経営の総括	租 收 益	千円	1,388				
	経 営 費	"	1,227				
		雇用労賃	"	40			
		種 菌 費	"	5			
		原 木 費	"	747			
		薬 剤 費	"	1			
		諸 材 料 費	"	29			
		光 熱 動 力 費	"	97			
		機 械 修 繕 費	"	107			
		建 物 維 持 費	"	67			
		賃 借 料 ・ 料 金	"	44			
		荷 造 運 賃 手 数 料	"	57			
		企 画 管 理 費	"	4			
		物 件 税 そ の 他	"	29			
	所 得	千円	161				
	所 得 率	%	11.6				
	労働時間1時間当たり所得	円	278				

注)標準値は林業経営統計調査報告 栽培きのご経営統計(平成16年)

Ⅲ. きのこと栽培経営状況調査票2(生しいたけ・原木栽培)

区 分	単位	標準値	調 査			増減率	
			平成 年	平成 年	平成 年		
経営の概況	年度始め世帯員数	人	3.62				
	培養用地面積	m ²	3,001				
	発生用地面積	"	700				
	年初め保有ほだ木数	10本	1,466				
	年間使用ほだ木数	"	1,030				
	出荷数量	kg	3,271				
	投下労働時間	時間	2,008				
		家 族	"	1,844			
	雇 用	"	164				
経営の総括	租 收 益	千円	2,781				
	経 営 費	"	2,473				
		雇 用 労 賃	"	105			
		種 菌 費	"	6			
		原 木 費	"	1,435			
		薬 剤 費	"	3			
		諸 材 料 費	"	132			
		光 熱 動 力 費	"	191			
		機 械 修 繕 費	"	192			
		建 物 維 持 費	"	175			
		賃 借 料 ・ 料 金	"	41			
		荷 造 運 賃 手 数 料	"	100			
		企 画 管 理 費	"	21			
		物 件 税 そ の 他	"	72			
	所 得	千円	309				
	所 得 率	%	11.1				
	労働時間1時間当たり所得	円	168				

注)標準値は林業経営統計調査報告 栽培きのこの経営統計(平成16年)

Ⅲ. きのご栽培経営状況調査票3(生しいたけ・菌床栽培)

区 分	単位	標準値	調 査			増減率
			平成 年	平成 年	平成 年	
経営の概況	年度始め世帯員数	人	3.56			
	培養用地面積	m ²	218			
	発生用地面積	"	322			
	年初め保有菌床数	10個	1,313			
	年間使用菌床数	"	1,549			
	出荷数量	kg	9,141			
	投下労働時間	時間	3,468			
	家 族	"	2,749			
	雇 用	"	719			
経営の総括	租 收 益	千円	8,232			
	経 営 費	"	6,200			
	雇 用 労 賃	"	515			
	種 菌 費	"	205			
	菌床材料費	"	2,434			
	薬 剤 費	"	9			
	諸 材 料 費	"	261			
	光熱動力費	"	845			
	機械修繕費	"	375			
	建物維持費	"	387			
	賃借料・料金	"	243			
	荷造運賃手数料	"	659			
	企画管理費	"	99			
	物件税その他	"	168			
	所 得	千円	2,032			
所 得 率	%	24.7				
労働時間1時間当たり所得	円	739				

注)標準値は林業経営統計調査報告 栽培きのご経営統計(平成16年)

Ⅲ. きのこ栽培経営状況調査票4(えのきたけ・菌床栽培)

区 分	単位	標準値	調 査			増減率	
			平成 年	平成 年	平成 年		
経営の概況	年度始め世帯員数	人	3.87				
	培養用地面積	m ²	133				
	発生用地面積	"	279				
	年初め保有菌床数	10個	10,011				
	年間使用菌床数	"	55,488				
	出荷数量	kg	123,169				
	投下労働時間	時間	8,322				
		家族	"	4,409			
	雇用	"	3,913				
経営の総括	租 收 益	千円	34,566				
	経 営 費	"	29,287				
		雇用労賃	"	4,142			
		種 菌 費	"	616			
		菌床材料費	"	9,980			
		光熱動力費	"	3,078			
		機械修繕費	"	1,770			
		建物維持費	"	982			
		賃借料・料金	"	1,649			
		荷造運賃手数料	"	4,103			
		所 得	千円	5,278			
		所 得 率	%	15.3			
	労働時間1時間当たり所得	円	1,197				

注) 標準値は林業経営統計調査 平成16年度栽培きのこ経営体の経営収支 平成17年10月31日公表

Ⅲ. きのこと栽培経営状況調査票5(ぶなしめじ・菌床栽培)

区 分	単位	標準値	調 査				増減率
			平成	年	平成	年	
経営の概況	年度始め世帯員数	人	4.06				
	培養用地面積	m ²	236				
	発生用地面積	〃	195				
	年初め保有菌床数	10個	20,035				
	年間使用菌床数	〃	54,504				
	出荷数量	kg	85,184				
	投下労働時間	時間	9,689				
		家族	〃	4,356			
	雇用	〃	5,333				
経営の総括	租 收 益	千円	39,288				
	経 営 費	〃	30,405				
		雇用労賃	〃	5,111			
		種 菌 費	〃	1,671			
		菌床材料費	〃	6,171			
		光熱動力費	〃	4,854			
		機械修繕費	〃	2,622			
		建物維持費	〃	2,187			
		賃借料・料金	〃	1,322			
		荷造運賃手数料	〃	1,141			
		所 得	千円	8,883			
	所 得 率	%	22.6				
	労働時間1時間当たり所得	円	2,039				

注) 標準値は林業経営統計調査 平成16年度栽培きのこ経営体の経営収支 平成17年10月31日公表

Ⅲ. きのこと栽培経営状況調査票6(まいたけ・菌床栽培)

区 分		単位	標準値	調 査			増減率	
				平成 年	平成 年	平成 年		
経営の概況	年度始め世帯員数	人	3.99					
	培養用地面積	m ²	189					
	発生用地面積	"	273					
	年初め保有菌床数	10個	6,843					
	年間使用菌床数	"	22,681					
	出荷数量	kg	52,474					
	投下労働時間	時間	6,950					
		家 族	"	2,598				
	雇 用	"	4,352					
経営の総括	租 收 益	千円	31,106					
	経 営 費	"	25,878					
		雇 用 労 賃	"	7,188				
		種 菌 費	"	858				
		菌床材料費	"	5,904				
		光熱動力費	"	3,784				
		機械修繕費	"	1,678				
		建物維持費	"	1,582				
		賃借料・料金	"	1,102				
		荷造運賃手数料	"	956				
		所 得	千円	5,228				
	所 得 率	%	16.8					
	労働時間1時間当たり所得	円	2,012					

注)標準値は林業経営統計調査 平成16年度栽培きのこの経営体の経営収支 平成17年10月31日公表

Ⅲ. きのこ栽培経営状況調査票7(なめこ・菌床栽培)

区 分	単位	標準値	調 査			増減率
			平成 年	平成 年	平成 年	
経営の概況	年度始め世帯員数	人	4.86			
	培養用地面積	m ²	160			
	発生用地面積	"	209			
	年初め保有菌床数	10個	10,120			
	年間使用菌床数	"	15,609			
	出荷数量	kg	36,422			
	投下労働時間	時間	6,934			
	家 族	"	3,568			
	雇 用	"	3,366			
経営の総括	租 收 益	千円	13,765			
	経 営 費	"	10,849			
	雇 用 労 賃	"	2,529			
	種 菌 費	"	571			
	菌床材料費	"	2,068			
	光熱動力費	"	1,349			
	機械修繕費	"	918			
	建物維持費	"	560			
	賃借料・料金	"	308			
	荷造運賃手数料	"	1,398			
	所 得	千円	2,915			
	所 得 率	%	21.2			
	労働時間1時間当たり所得	円	817			

注)標準値は林業経営統計調査 平成16年度栽培きのこの経営体の経営収支 平成17年10月31日公表

IV. きのご栽培経営費と収益調査表1-1(乾しいたけ:原木栽培)

【設定条件】		標準値	平成	年	平成	年	平成	年	増減率(%)
1. 経営類型		複合経営							
2. 栽培条件									
春季発生		80 %							
秋季発生		20 %							
3. 標準経営規模									
年植菌ほだ木		10,000 本							
稼働ほだ木本数		38,000 本							
4. 家族労働力									
基幹		2 人							
補助		2 人							
5. 主な施設、機械									
乾燥舎		60 m ²							
人工ほだ場 <small>(雨よけ施設付き)</small>		1,200 m ²							
散水施設		30 a							
乾燥機		3 台							
軽トラック		1 台							
ほだ木運搬車		1 台							
発電機(1,200W)		1 台							
6. 標準発生量									
標準ほだ木									
(10cm×1.2m)		170 g							
1本1代当りの発生		(乾燥)							
7. 原木購入		立木購入							
区分	【経営費と収益】	標準値	平成	年	平成	年	平成	年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)		(円)		(円)		
経営費	種菌費	432,000							
	立木代	1,200,000							
	諸材料費	123,500							
	光熱・動力費	277,870							
	修繕費	150,000							
	公租公税	30,000							
	償却費								
	建物	287,063							
	機械器具	536,729							
	借入金利子	268,352							
ほだ場借料	21,000								
経営費合計	3,326,514								
流通経費	512,760								
計	3,839,274								
租収益	生産物収量(kg)	1,615							
	平均単価	4,400							
	売上金額	7,106,000							
所得	3,266,726								
1日当り家族労働	7,778								

- <備考> (1)借入金は固定資産取得額の70%とし、金利を年5%として算出した。
(2)年償却額は、取得価額×0.9÷耐用年数
(3)ほだ場借料は自然ほだ場が、0.2ha分6,000円、人工ほだ場1,200m²が15,000円である。
(4)生産量の発生量は、伏せこみ本数に対し、ロス率5%として算出した。

注)標準値は「2001年版きのごガイドブック」(農村文化社)(九州大学農学部・佐藤 宣子)

IV. きのこ栽培経営費と収益調査表1-2(乾しいたけ:原木栽培)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査					
区分	品目名	使用量	単位	単価(円)	金額(円)	使用量	単位	単価(円)	金額(円)		
種 菌	中低温系種菌	80,000	個	2.4	432,000		個				
	低温系種菌	100,000	個				個				
原 木	立木代金	10,000 (94m ³)	本	120 (12720円 /m ³)	1,200,000		本				
諸 材 料	ドリル	年に1台		14,500	14,500						
	替えきり	18	本	500	9,000		本				
	ほだ場材料				40,000						
	散水用具				30,000						
	その他				30,000						
	小計					123,500					
光 熱 動 力 費	重油	3,800	ℓ	45	182,400		ℓ				
	混合油	300	ℓ	150	45,000		ℓ				
	ガソリン	250	ℓ	105	26,250		ℓ				
	エンジンオイル	6	ℓ	800	4,800		ℓ				
	チェーンオイル	18	ℓ	190	3,420		ℓ				
	電気料	800	kw	20	16,000		kw				
小計					277,870						
計					2,033,370						
【 固 定 資 産 ・ 減 価 償 却 費 】		標 準 値				調 査					
固定資産名		取得価格 (千円)	耐用 年数	年償却額 (千円)	負担 割合 (%)	単位当り 負担額 (円)	取得価 格 (千円)	耐用 年数	年償却 額(千円)	負担 割合 (%)	単位当り 負担額 (円)
建 物 施 設	乾燥舎 60m ²	1,500	18	75	100	75,000					
	人工ほだ場 1,200m ²	1,700	10	153	100	153,000					
	散水施設 30a	525	8	59	100	59,063					
	小計	3,725		287		287,063					
農 機 具	乾燥機	982	8	110	100	110,475					
	〃	982	8	110	100	110,475					
	〃	597	8	67	100	67,163					
	発電機	125	5	23	100	22,500					
	軽トラック	974	5	175	70	122,724					
	ほだ木運搬車	580	5	104	80	83,520					
	チェーンソー	138	5	25	80	19,872					
小計 (うち乾しいたけ部門)	4,378 3,942					536,729					
計 (うち乾しいたけ部門)	8,103 7,667					823,792					
【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査					
項 目	単価	単位当 り数量	単位当り金額 (円)	摘要	単価	単位当 り数量	単位当 り金額	摘要			
段ボール箱、内袋 ポリ袋、テープ式 手数料	800	108箱	86,400	1箱に15kg							
計			426,360	売上金の6%							

注) 標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社) (九州大学農学部・佐藤 宣子)

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表2-1(生しいたけ・原木栽培)

【 設 定 条 件 】		標準値	平成	年	平成	年
1. 経営類型		生しいたけ主体 複合経営				
2. 栽培条件		施設型周年栽培				
3. 標準経営規模						
年植菌ほだ木本数		10,000 本				
稼働ほだ木本数		27,100 本				
4. 家族労働力		2名 (男女各1名)				
5. 主な施設、機械						
ハウス		150 m ²				
人工庇陰		165 m ²				
電動式ホイス		1 台				
軽四輪 (しいたけ部門利用50%)		1				
動力運搬車 (しいたけ部門利用50%)		1				
6. 標準発生量						
標準ほだ木		径9cm×1.2m				
1本1代の発生量		900 g				
7. ほだ木						
育成年数		1				
用役年数		2				
8. 原木		すべて玉切り購入				
9. 土地、労働力、資金		自己所有地、家 族労働、自己資				
区	【経営費と収益】	標準値	平成	年	平成	年
分	項 目	金 額(円)	(円)	(円)	(円)	増減率(%)
経 営 費	原木代	2,300,000				
	種駒代	910,000				
	諸材料費	149,650				
	光熱・動力費	141,800				
	修繕費	71,840				
	租税公課	30,000				
	償却費					
	建物・施設 機械・器具	136,800 247,538				
	支払利子	0				
	ほだ場借上料	0				
経営費小計	3,987,628					
流通経費	1,466,500					
合 計	5,454,128					
租	生産物収量(kg)	10,000				
収	平均単価	840				
益	売上金額	8,400,000				
①	差 引 所 得 (しいたけ部門)	2,945,872				
②	1日当り家族労働報酬	6,195				
③	投下資本利回り(%)	2.5				

<備考> (1)②の指標は(①-投下資本利子見積額)/換算家族労働日数で、③の指標は(①-家族労働見積額)/投下資本額×100で算出した。

(2)家族労働は1時間当り男子900円、女子650円とした。

(3)修繕費は建物負担評価額×1%+機器負担評価額×4%とした。

(4)生産物平均単価は平成9~11年の大阪中央卸売市場年平均価格の入荷量による加重平均である。

注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、鳥取大学農学部・助教授・古塚 秀雄

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表2-2(生しいたけ:原木栽培)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	使用量	単位	単価(円)	金額(円)	使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌	高温菌	140,000	個	2.6	364,000		個		
	中低温菌	210,000	個	2.6	546,000		個		
	小 計				910,000				
原 木	コナラ	10,000	本	230	2,300,000		本		
諸 材 料	専用ドリル	2	台	23,000	46,000				
	替えきり	10	本	1,365	13,650		本		
	包装機	1	台	50,000	50,000		台		
	その他				40,000				
	小計				149,650				
光 熱 動 力 費	灯油	400	ℓ	43	17,200		ℓ		
	混合油	20	ℓ	120	2,400		ℓ		
	ガソリン	400	ℓ	103	41,200		ℓ		
	エンジンオイル	20	ℓ	800	16,000		ℓ		
	電気料	800	kw	20	16,000		kw		
	小計				242,450				
計					2,033,370				
【 固 定 資 産 ・ 減 価 償 却 費 】		標 準 値			調 査				
固定資産名		取得価格 (千円)	耐用年 数	年償却額 (千円)	取得価格 (千円)	耐用年数	年償却額 (千円)		
建 物 施 設	ハウス	540,000	8	60,750					
	人工庇陰	330,000	15	19,800					
	浸水槽	300,000	20	13,500					
	散水施設	380,000	8	42,750					
	小計	1,550,000		136,800					
機 械 ・ 器 具	電動式ホイスト	350,000	8	39,375					
	軽四輪 (50%使用)	800,000 (400,000)	4	90,000					
	動力運搬車 (50%使用)	317,000 (158,500)	4	35,663					
	暖房機	250,000	5	175					
	冷却用クーラー	250,000	5	104					
小計	1,408,500		247,538						
計		2,958,500		384,338					
【 流 通 経 費 】		標 準 値			調 査				
項 目	単価 (円)	数量 (個・箱)	金額(円)	摘要	単価 (円)	金額(円)	摘要		
トレー・ラベル	22/パック	100,000	220,000						
ガムテープ	0.09/ "	100,000	9,000						
フィルム	1.7/ "	100,000	170,000						
段ボール箱	85/箱	1,500	127,500	1箱に50パック					
スチロール箱	200/ "	500	100,000						
市場手数料	10.0%	8,400,000	840,000	売上金の10%					
合 計			1,466,500						

<摘要> (1) 種菌は原木1本当り35個打ちとした。また、高温菌は4,000本で、中低温菌は6,000本とした。

(2) 市場手数料(10%)は農協1.5%、市場8.5%とした。

(3) 軽四輪および動力運搬車の年間償却額はしいたけ栽培利用割合を取得価額に乗じたものをもとに計算した。

(4) スチロール箱を利用したパック数は全体の25%とした。

注) 標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、鳥取大学農学部・助教授・古塚 秀雄

Ⅳ. きのご栽培経営費と収益調査表3-1

(生しいたけ:菌床栽培 培養発生一貫生産タイプ、1.2kg袋培地、4万袋規模)

【設定条件】	標準値	平成	年	平成	年
1. 経営類型	生しいたけ主体 複合経営				
2. 適応地域	農山村、中山間地				
3. 栽培条件、規模 生産タイプ 培地 所有袋数 年間回転率 年間栽培数	周年栽培 培養発生一貫 1.2kg袋 40,000袋 1回転 40,000袋				
4. 家族労働力	3人				
5. 主な施設、機械 作業舎1棟 培養舎1棟3室 パイプハウス4棟 培養舎冷暖房施設 発生舎暖房装置 栽培機器	48.6 m ² 59.4 m ² 396.0 m ² 一式 一式 一式				
6. 主要技術指標 1日当り仕込量 1作期間 培養 収穫 収穫目標1培地当り A級比率 害菌ロス率	500袋 9カ月 3カ月 6カ月 300g 85%以上 2%以下				
区分	【経営費と収益】	標準値	平成	年	平成
項目	金額(円)		(円)	(円)	増減率(%)
経営費	種菌費	120,000			
	培養基費	206,660			
	培地材料費	30,000			
	薬剤費	2,990			
	光熱・動力費	164,510			
	修繕費	71,670			
	租税公課	35,510			
	償却費				
	建物・施設	114,350			
	機械・器具	338,510			
支払利子	84,720				
経費合計	1,168,920				
流通経費	726,430				
合計	1,895,350				
相	生産物収量(kg)	2,548			
収	平均単価	1,170			
益	売上金額	2,981,160			
所	得	1,085,810			
	1日当り家族労働報酬	6,630			

- <備考> (1) 固定資産の取得価格は、所有袋数40,000袋で試算。
 (2) 修繕費、建物、施設は取得価格の0.5%、機械器具は取得価格の2.5%。
 (3) 支払利息は固定資産取得額の50%借入金額を年利2.5%で元利均等償却した場合の平均支払額。
 (4) このモデルにおける総所得は454万円
 (5) 1日当りの家族労働報酬は家族労働3人で試算(年間1,311時間)。
 (6) 試算基礎は平成10年度長野県きのご基本計画を準用
 注) 標準値は「2001年版きのごガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター・竹内 嘉江

Ⅳ. きのか栽培経営費と収益調査表3-2

(生いたけ:菌床栽培 培養発生一貫生産タイプ、1.2kg袋培地、4万袋規模)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌	種菌	80	本	1,500	120,000		本		
	小計				120,000				
培 養 基 費	オガコ	22	m ³	6,800	149,600		m ³		
	フスマ	420	kg	43	18,060		kg		
	コーンブラン	600	kg	65	39,000		kg		
	小計				206,660				
諸 料 材 費	P. P. 袋	10,000	枚	3	30,000		枚		
	小計				30,000				
薬 劑 費	アルコール	1	ℓ	1,000	1,000		ℓ		
	ホルマリン	0.5	ℓ	103	50		ℓ		
	オスバン	0.5	ℓ	540	270		ℓ		
	ペントーレ	0.1	kg	9,220	920		kg		
	殺虫剤	0.1	ℓ	2,500	250		ℓ		
	綿、がーぜ				500				
小計				2,990					
光 熱 動 力 費	灯油	1,900	ℓ	50	95,000		ℓ		
	ガソリン	150	ℓ	121	18,150		ℓ		
	電気料	1,720	kw	20	34,400		kw		
	水道料	160	m ³	106	16,960		m ³		
小計				164,510					
修 繕 費	建物	1式			11,010				
	機械	1式			60,660				
	小計				71,670				
小計				595,830					
【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査			
項 目	単価 (円)	数量 (箱)	金額(円)	摘要	単価	数量 (箱)	金額(円)	摘要	
トレー	112	637	71,340						
シール	40	637	25,480						
ラップ	40	637	25,480						
段ボール箱	100	637	63,700	4kg詰め					
手数料			387,550						
運賃	212	637	135,040						
雑費	28	637	17,840						
計			726,430						

注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター・竹内 嘉江地

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表3-3

(生しいたけ:菌床栽培 培養発生一貫生産タイプ、1.2kg袋培地、4万袋規模)

固定資産・減価償却費		標準値				調査					
固定資産名		取得価格 (千円)	耐用年数	年償却額(円)	負担割合 (%)	単位当たり負担額(円)	取得価格 (千円)	耐用年数	年償却額(円)	負担割合 (%)	単位当たり負担額 (円)
建物施設	作業場1棟 48.6㎡	2,576	18	128,800		32,200					
	栽培舎(培) 159.4㎡	5,809	18	290,450		72,610					
	パイプハウ (発)4棟	424	10	38,160		9,540					
	小計	8,809		457,410		114,350					
機械・器具	冷暖房施設(培)	1,782	13	123,370		30,840					
	暖房機(発) 4	1,000	10	90,000		22,500					
	かく拌機 1	570	5	102,600		25,650					
	詰機 1	480	5	86,400		21,600					
	コンベア 1	200	5	36,000		9,000					
	高圧殺菌窯 1	2,280	5	410,400		102,600					
	接種機 1	220	5	39,600		9,900					
	台車 6	300	4	67,500		16,880					
	ラップ機 1	100	5	18,000		4,500					
	軽トラック 1	861	4	193,730	50	24,220					
	オイルタンク 1	80	7	10,290		2,570					
	棚材(培、発)	700	10	63,000		15,750					
	浸水層 1	200	30	6,000		1,500					
	ホース 30	30	5	5,400		1,350					
	ハウス用ビニール 4	112	3	33,600		8,400					
	ピアレスフィルム 4	190	3	57,000		14,250					
	殺菌用コンテナ 100	100	5	18,000		4,500					
	キャップ、筒口 500	500	5	90,000		22,500					
小計	9,705		1,450,890		338,510						
計	18,514		1,908,300		452,860						

注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター・竹内 嘉江

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表4-1

(生しいたけ: 菌床栽培発生分業生産タイプ、1. 2kg袋培地、5,000袋当り)

【設定条件】	標準値	平成 年	平成 年		
1. 経営類型	生しいたけ 複合経営				
2. 適応地域	農山村、中山間地				
3. 栽培条件、規模 培養センター	農閑期、季節栽培 1. 2kg袋 培地購入 所有袋数 5,000 袋 年間回転率 1 回転 年間栽培数 5,000 袋				
4. 家族労働力	1 名				
5. 主な施設、機械 パイプハウス1棟 発生舎暖房装置 栽培機器一式	99 m ²				
6. 主要技術指標 1作期間 1坪当り A級比率 害菌ロス率	6 カ月 300 g (115g×2.6パック) 85 %以上 2 %以下				
区分	【経営費と収益】	標準値	平成 年	平成 年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)	(円)	
経営費	培地費	540,000			
	薬剤費	1,440			
	光熱・動力費	73,740			
	修繕費	24,880			
	租税公課	35,420			
	償却費				
	建物・施設	9,540			
	機械・器具	125,970			
	支払利子	17,240			
	経費合計	828,230			
流通経費	363,490				
計	1,191,720				
収	生産物収量(kg)	1,274			
	平均単価	1,170			
	売上金額	1,490,580			
	差引所得	298,860			
	1日当り家族労働報酬	7,470			

<留意点>

- (1) 固定資産の取得価格は、所有袋数5,000袋で試算。
 - (2) 修繕費、建物、施設は取得価格の0.5%、機械器具は取得価格の2.5%。
 - (3) 支払利息は固定資産取得額の50%借入金額を年利2.5%で元利均等償還した場合の平均支払額
 - (4) このモデルにおける総所得は32万円。
 - (5) 1日当たりの家族労働報酬は家族労働1人で試算(年間320時間)。
 - (6) 試算基礎は平成10年度長野県きのこ基本計画を準用
- 注) 標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター・竹内 嘉江

IV. きのか栽培経営費と収益調査表4-2
(生しいたけ: 菌床栽培発生分業生産タイプ、1. 2kg袋培地、5,000袋当り)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査					
区分	品目名	単位当り使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り使用量	単位	単価(円)	金額(円)		
費 培地	購入培地	5,000	袋	108	540,000		袋				
	小 計				540,000						
薬 剤 費	オスパン	0.5	ℓ	540	270	ℓ					
	ベントーレ	0.1	kg	9,220	920	kg					
	殺虫剤	0.1	ℓ	2,500	250	ℓ					
	小 計				1,440						
光 熱 動 力 費	灯油	1,040	ℓ	50	52,000	ℓ					
	ガソリン	60	ℓ	121	7,260	ℓ					
	電気料	300	kw	20	6,000	kw					
	水道料	80	m ³	106	8,480	m ³					
	小 計				73,740						
修 繕 費	建物	1	式	43	530	1	式				
	機械	1	式	120	24,300	1	式				
	小 計	400		103	24,830						
計				640,060							
【 固 定 資 産 ・ 減 価 償 却 費 】		標 準 値				調 査					
固定資産名		取得価格(千円)	耐用年数	年償却額(千円)	負担割合(%)	単位当たり負担額(円)	取得価格(千円)	耐用年数	年償却額(千円)	負担割合(%)	単位当たり負担額
建 物	パイプハウス1棟 99.0m ²	106	10	9,540	100	9,540					
	小 計	106		9,540		9,540					
機 械 ・ 器 具	暖房機(発)	1	250	10	22,500	100	22,500				
	ラップ機	1	100	5	18,000	100	18,000				
	軽トラック	1	861	4	193,730	20	38,750				
	オイルタンク	1	40	7	5,140	100	5,140				
	棚材(発)		130	10	11,700	100	11,700				
	浸水槽	1	200	30	6,000	100	6,000				
	ホース		6	5	1,080	100	1,080				
	ハウス用ビニール		28	3	8,400	100	8,400				
	ピアレスフィルム		48	3	14,400	100	14,400				
小 計		1,663		280,950		125,970					
計		1,769		290,490		135,510					
【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査					
項 目	単価(円)	数量(箱)	金額(円)	摘要	単価(円)	単価(円)	金額(円)	摘要			
トレー	112	319	35,730								
シール	40	319	12,760								
段ボール箱	100	319	31,900								
ラップ	40	319	12,760								
運賃	212	319	67,630								
手数料			193,780								
雑費	28	319	8,930								
合 計			363,490								

注) 標準値は「2001年版きのかガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター・竹内 嘉江

IV. きのご栽培経営費と収益調査表5-1
(えのきたけ:菌床栽培 一貫栽培、大容量12万本、1万本当り)

【設定条件】		標準値	平成 年	平成 年	
1. 経営類型		えのきたけ専業			
2. 適応地域		長野県			
3. 栽培条件		周年栽培			
4. 規模		所有ビン数1,100ml 年間回転数 5回転 年間栽培ビン数 600千本			
5. 労働力		家族 3人 6,300 時間 雇用 3人 4,680 時間 合計 10,980 時間			
6. 主たる設備、機械		作業場 281 m ² 栽培舎 655 m ² 冷暖房 一式 栽培用機器 一式			
7. 主要栽培指標		一栽培期間 58 日 A級比率 90 %以上 ロスビン率 1 % 1ビン収量 260 g			
区分	経営費と収益	標準値	平成 年	平成 年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)	(円)	
経 営 費	種菌費	32,500			
	培地材料費	101,850			
	諸材料費	5,625			
	薬剤費	872			
	光熱・動力費	73,170			
	修繕費	39,127			
	償却費				
	建物構築物	51,300			
	施設	16,904			
	機械・器具	106,815			
	借入金利息	16,738			
	雇用労働費	64,669			
	租税公課	21,593			
	経費合計	531,163			
	流通経費	208,494			
手数料	105,019				
流通経費合計	313,513				
計	844,676				
租	生産物収量(kg)	2,574			
収	平均単価	340			
益	売上金額	875,160			
	所得	30,484			
	1日当り家族労働報酬	2,323			

- <備考> (1)修繕費 建物、施設は、取得価格の0.5%
機械器具は、取得価格の5.0%
- (2)支払利息は同
- (3)所得は目標所得
- (4)1日当りの家族労働報酬は家族労働力人数当りで試算

注)標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのご基本計画(平成15年度)

IV. きのご栽培経営費と収益調査表5-2
(えのきたけ: 菌床栽培 一貫栽培、大容量12万本、1万本当り)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌	種菌	325	本	100	32,500		本		
	小 計				32,500				
料 培 養 費 材	コーンコブミール	1,020	kg	6,800	149,600		kg		
	米ぬか	970	kg	43	18,060		kg		
	その他栄養材	920	kg	65	39,000		kg		
	小 計				206,660				
薬 劑 費	アルコール	1.0	ℓ	486	486		ℓ		
	次亜塩素酸ナトリウム	1.0	ℓ	116	116		ℓ		
	オスパン	0.5	ℓ	540	270		ℓ		
	小 計				872				
料 諸 費 材	紙巻き	125	枚	5	625		枚		
	その他			5,000	5,000				
	小 計				5,625				
光 熱 動 力 費	重油	260	ℓ	48	12,480		ℓ		
	灯油(暖房用)	20	ℓ	49	980		ℓ		
	電気料	2,860	kw	20	57,980		kw		
	水道料	4	m	150	600		m		
	ガソリン(運搬用)	10	ℓ	113	1,130		ℓ		
	小 計				73,170				
修 繕 費	建物・構築物			7,410	7,410				
	施設			1,409	1,409				
	機械・器具			30,308	30,308				
	小 計				39,127				
	計				352,329				

【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査			
項 目	単価 (円)	数量 (箱)	金額(円)	摘要	単価	数量 (箱)	金額(円)	摘要	
運賃	190	515	97,812						
トレー・レットル・フィルム	90	515	46,332						
包装資材	90	515	46,332						
手数料									
その他経費	35	515	18,018						
計			208,494						

注) 標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成15年度)」

IV. きのか栽培経営費と収益調査表5-3
 (えのきたけ:菌床栽培 一貫栽培、大容量12万本、1万本当り)

【固定資産・減価償却費】		標準値			調査			単位当たり負担額(円)
固定資産名		取得価格(千円)	耐用年数	年償却額(千円)	単位当たり負担額(円)	取得価格(千円)	耐用年数	
建物	作業場	26,676	26	2,155	35,910			
	栽培舎	62,244	26	923	15,390			
小計		88,920		3,078	51,300			
施設	空調施設	16,904	15	1,014	16,904			
	小計	16,904		1,014	16,904			
機械・器具	ミキサ(4,300本)	1,380	5	248	4,140			
	詰め機	2,400	5	432	7,200			
	高速殺菌釜	9,290	5	1,672	27,870			
	自動接種木	2,150	5	387	6,450			
	菌掻き機	2,500	5	450	7,500			
	熱交換器一式	3,000	5	540	9,000			
	包装機	3,680	8	414	6,900			
	加湿器	100	5	18	300			
	ふるい機	530	5	95	1,590			
	チェーンコンベアー	80	5	14	240			
	掻き出し機	2,200	5	396	6,600			
	フォークリフト	680	4	153	2,550			
	軽トラック	850	4	191	3,188			
	ホイールローダー	930	4	209	3,488			
	ピン・キャップ・コンテナ	6,600	5	1,188	19,800			
小計		36,370		6,407	106,815			
計		142,194		10,501	175,019			

注)標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成15年度)」

<引用文献・参考文献>

- 1 農業経営診断マニュアル編集委員会『農業経営診断マニュアル 第2集』(社)中小企業診断協会 平成18年2月
- 2 (株)特産情報きのこ年鑑編集部『2006年度版 きのこ年鑑』(株)プランワールド
- 3 農村文化社 きのこガイドブック編集部『2001年度版 きのこガイドブック』(株)農村文化社 2000年11月10日
- 4 (社)金融財政事情研究改編『業種別審査辞典 第一巻』(社)金融財政事情研究会 2003年
- 5 古塚秀夫『シイタケ栽培経営管理論』明文書房 1992年
- 6 古塚秀夫「シイタケ栽培の現状と課題」(今井金雷蔵編『現代農業経済問題へのアプローチ』)
- 7 農林統計協会平成10年
- 8 農林水産省「平成16年度 栽培きのこ経営体の経営収支平成17年10月31日公表」『林業経営統計調査』
農林水産省ホームページ <http://www.maff.go.jp>
- 9 食品産業センター『生産情報公表JAS規格ガイドブック(きのこ)』食品産業センターホームページ
http://www.shokusan.or.jp/center_osirase/h18jas-nousan/4-3.pdf
- 10 農林水産省「きのこGAP策定・普及マニュアル」農林水産省ホームページ
http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/pdf/manual/kinoko.pdf

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表6-1

(えのきたけ: 菌床栽培 培養センター利用栽培、大容量5万5,000本、1万本当り)

【設定条件】	標準値	平成 年	平成 年		
1. 経営類型	えのきたけ専業				
2. 適応地域	長野県				
3. 栽培条件	周年栽培				
4. 規模 年間回転数 年間栽培ビン数	10 回転 550 千本				
5. 労働力 家族 3人 雇用 2人 合計	6,300 時間 1,895 時間 8,195 時間				
6. 主たる設備、機械 作業場 栽培舎 冷暖房 栽培用機器	83 m ² 358 m ² 一式 一式				
7. 主要栽培指標 一栽培期間 A級比率 ロスビン率 1ビン収量	30 日 90 %以上 1 % 260 g				
区分	【経営費と収益】	標準値	平成 年	平成 年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)	(円)	
経営費	種菌費	300,000			
	培養基費	0			
	諸材料費	6,250			
	薬剤費	872			
	光熱・動力費	42,354			
	修繕費	13,097			
	償却費				
	建物構築物	32,192			
	施設	13,651			
	機械・器具	23,048			
	借入金利息	9,190			
	雇用労働費	24,665			
	租税公課	8,000			
	経費合計	473,319			
	流通経費	208,494			
手数料	105,019				
流通経費合計	313,513				
計	786,833				
租	生産物収量(kg)	2,574			
収	平均単価	340			
益	売上金額	875,160			
	所得	88,327			
	1日当り家族労働報酬	9,254			

<備考> (1) 修繕費 建物、施設は、取得価格の0.5%
機械器具は、取得価格の5.0

(2) 支払利息は固定資産取得額の50%借入金額を年利2.5% で元利均等償却した場合の平均支払額

(3) 所得は目標所得

(4) 1日当りの家族労働報酬は家族労働力人数当りで試算

注) 標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成15年度)

Ⅳ. きのご栽培経営費と収益調査表6-2

(えのきたけ:菌床栽培 培養センター利用栽培、大容量5万5,000本、1万本当り)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌 費	培養ビン	10,000	本	30	300,000		本		
	小 計				300,000				
料 培 養 費 材	オガコ		kg				kg		
	米ぬか		kg				kg		
	その他栄養材		kg				kg		
	小 計				0				
薬 劑 費	アルコール	1.0	ℓ	486	486		ℓ		
	次亜塩素酸ナトリウム	1.0	ℓ	116	116		ℓ		
	オスバン	0.5	ℓ	540	270		ℓ		
	小 計				872				
料 諸 費 材	紙巻き	250	枚	5	1,250		枚		
	その他			5,000	5,000				
	小 計				6,250				
光 熱 動 力 費	重油		ℓ				ℓ		
	灯油(暖房用)	6	ℓ	49	294		ℓ		
	電気料	2,000	kw	20	40,780		kw		
	水道料	1	m	150	150		m		
	ガソリン(運搬用)	10	ℓ	113	1,130		ℓ		
小 計				42,354					
修 繕 費	建物・構築物			4,650	4,650				
	施設			1,138	1,138				
	機械・器具			7,309	7,309				
	小 計				13,097				
計				356,323					

【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査			
項 目	単価 (円)	数量 (箱)	金額(円)	摘要	単価	数量 (箱)	金額(円)	摘要	
運賃	190	515	97,812						
トレー・レットル・フィルム	90	515	46,332						
包装資材	90	515	46,332						
手数料									
その他経費	35	515	18,018						
計			208,494						

注)標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのご基本計画(平成15年度)」

IV. きのご栽培経営費と収益調査表6-3

(えのきたけ: 菌床栽培 培養センター利用栽培、大容量5万5,000本、1万本当り)

【固定資産・減価償却費】		標準値				調査			
固定資産名		取得価格 (千円)	耐用 年数	年償却額 (千円)	単位当 り負担額 (円)	取得価 格 (千円)	耐用 年数	年償却 額(千円)	単位当 り負担額 (円)
建物	作業場	8,250	26	1,485	27,000				
	栽培舎	42,900	26	286	5,192				
	小計	51,150		1,771	32,192				
施設	空調施設	12,513	15	751	13,651				
	小計	12,513		751	13,651				
機械・器具	ミキサー(4,300本)	0	5	0	0				
	詰め機	0	5	0	0				
	高速殺菌釜	0	5	0	0				
	自動接種木	0	5	0	0				
	菌掻き機	0	5	0	0				
	熱交換器一式	2,000	5	360	6,545				
	包装機	3,680	8	414	7,527				
	加湿器	100	5	18	327				
	ふるい機	0	5	0	0				
	チェーンコンベアー	0	5	0	0				
	掻き出し機	730	5	131	2,389				
	フォークリフト	680	4	153	2,782				
	軽トラック	850	4	191	3,477				
	ホイールローダー	0	4	0	0				
	ビン・キャップ・コンテナ	0	5	0	0				
小計	8,040		1,267	23,048					
計	71,703		3,789	68,891					

注) 標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成15年度)」

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表7-1 (ぶなしめじ:菌床栽培 1万本当り)

【設定条件】		標準値	平成 年	平成 年	
1. 経営類型		ぶなしめじ専業			
2. 栽培条件		周年栽培			
3. 規模		所有ビン数 年間回転数 年間栽培ビン数	20万本 3回転 60万本		
4. 労働力		家族 雇用 合計	3人 3人 6人	時間 時間 時間	
5. 主たる設備、機械		作業場 栽培舎 冷暖房施設 栽培用機器	614 m ² 240 m ² 一式 一式		
6. 主要栽培指標		一栽培期間 A級比率 ロスビン率 1ビン収量	115日 98%以上 1% 180g以上		
区分	【経営費と収益】	標準値	平成 年	平成 年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)	(円)	
経営費	種菌費	30,800			
	培養基費	77,825			
	諸材料費	4,000			
	薬剤費	872			
	光熱・動力費	77,580			
	修繕費	32,711			
	償却費				
	建物	46,806			
	施設	15,350			
	機械・器具	99,060			
	借入金利息	16,738			
	雇用労働費	68,400			
	租税公課	21,593			
	経費合計	491,735			
	流通経費	257,677			
手数料	111,197				
流通経費合計	368,874				
計	860,609				
粗	生産物収量(kg)	1,782			
収	平均単価	520			
益	売上金額	926,640			
	所得	66,031			
	1日当り家族労働報酬	5,534			

注)標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成14年度)

IV. きのご栽培経営費と収益調査表7-2 (ぶなしめじ:菌床栽培 1万本当り)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌 費	種菌	280	本	110	30,800		本		
	小 計				30,800				
培 養 材 料 費	オガコ	5	m ²	4,500	22,500		m ²		
	米ぬか	600	kg	25	15,000		kg		
	その他栄養材	700	kg	40	28,000		kg		
	菌系活性剤	25	kg	493	12,325		kg		
	小 計				77,825				
薬 劑 費	アルコール	1.0	ℓ	486	486		ℓ		
	次亜塩素酸ナトリウム	1.0	ℓ	116	116		ℓ		
	オスバン	0.5	ℓ	540	270		ℓ		
	小 計				872				
料 諸 費 材	有孔ポリシート (1.5m×10m)	1	本	4,000	4,000		枚		
	小 計				4,000				
光 熱 動 力 費	重油	200	ℓ	48	9,600		ℓ		
	灯油(暖房用)	30	ℓ	49	1,470		ℓ		
	電気料	3,200	kw	20	64,780		kw		
	水道料	4	m ³	150	600		m ³		
	ガソリン(運搬用)	10	ℓ	113	1,130		ℓ		
小 計				77,580					
修 繕 費	建物・構築物			6,146	6,146				
	施設			1,163	1,163				
	機械・器具			25,402	25,402				
	小 計				32,711				
計					223,788				
【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査			
項 目	単価 (円)	数量 (箱)	金額(円)	摘要	単価	数量 (箱)	金額(円)	摘要	
運賃	305	356	108,702						
トレー・レットル・フィルム	240	356	85,536						
包装資材	130	356	46,332						
手数料			111,197						
その他経費	48	356	17,107						
計			368,874						

注)標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成14年度)」

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表7-3
(ぶなしめじ:菌床栽培 1万本当り)

【固定資産・減価償却費】		標準値			調査			単位当たり負担額(円)
固定資産名		取得価格(千円)	耐用年数	年償却額(千円)	単位当たり負担額(円)	取得価格(千円)	耐用年数	
建物	作業場	58,330	26	2,019	33,652			
	栽培舎	22,800	26	789	13,154			
小計		81,130		2,808	46,806			
施設	空調施設	15,350	15	921	15,350			
	小計	15,350		921	15,350			
機械・器具	ミキサー(4,300本)	800	5	144	2,400			
	詰め機	1,490	5	268	4,470			
	高速殺菌釜	8,200	5	1,476	24,600			
	自動接種木	1,900	5	342	5,700			
	菌掻き機	760	5	137	2,280			
	熱交換器一式	3,000	5	540	9,000			
	包装機	3,000	8	338	5,625			
	加湿器	1,000	5	180	3,000			
	ふるい機	550	5	99	1,650			
	チェーンコンペアー	80	5	14	240			
	掻き出し機	930	5	167	2,790			
	フォークリフト	680	4	153	2,550			
	軽トラック	850	4	191	3,188			
	ホイールローダー	930	4	209	3,488			
	ビン・キャップ・コンテナ	9,360	5	1,685	28,080			
	小計		33,530		5,944	99,060		
計		130,010		9,673	161,216			

注)標準値は、(社)金融財政事情研究会編「第10次業種別審査辞典 長野県他編」長野県きのこ基本計画(平成14年度)」

IV. きのこ栽培経営費と収益調査表8-1

(なめこ:高速栽培 10,000本当たり)

【設定条件】	標準値	平成 年	平成 年		
1. 経営類型	なめこ専業経営				
2. 栽培条件 高速栽培	周年栽培 1日3,008本仕込み				
3. 規模 所有ビン数 800cc 年間回転数 年間栽培ビン数	25 万本 5 回転 130 万本				
4. 労働力 家族 2人 雇用 4人 合計 6人	時間 時間 時間				
5. 主たる設備、機械 作業場 栽培舎 冷暖房施設 栽培用機器	200 m ² 1120 m ² 一式 一式				
6. 主要栽培指標 一栽培期間 A級比率 ロスビン率 1ビン収量	70 日 90 %以上 1 %以下 180 g以上				
区分	【経営費と収益】	標準値	平成 年	平成 年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)	(円)	
経営費	種菌費	48,000			
	培養基費	98,800			
	薬剤費	5,600			
	光熱・動力費	95,400			
	修繕費	4,100			
	償却費				
	建物	23,100			
	空調施設	12,900			
	機械・器具	47,700			
	支払利息	33,400			
	雇用労働費	60,000			
	租税公課	16,700			
	雑費	10,700			
	経費合計	456,400			
	流通経費	111,000			
手数料	82,300				
流通経費合計	193,300				
計	649,700				
租	生産物収量(kg)	1,800			
收	平均単価	398			
益	売上金額	716,400			
	所得	66,700			
	1日当り家族労働報酬	6,000			

(備考)

1. 借入金は、建物、施設と機械器具の取得額の70%とし、年金利5%とした
2. 修繕費は、建物・設備負担価額×1%+機器負担価額×8%で計算
3. 租税公課は、物品購入に伴う消費税5%で計算
4. 雇用労働費は、雇用労働時間×750円
5. 雑費は、売り上げ金額の1.5%で計算

注)標準値は、「きのこ年鑑 2006年度版」特産情報きのこ年鑑編集部

IV. きのこ栽培経営費と収益調査表8-2 (なめこ:高速栽培 10,000本当り)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌 費	メーカー種菌	40	本	1,200	48,000		本		
	小 計				48,000				
培 養 材 料 費	オガコ	9	m ²	7,500	67,500		m ²		
	専管ふすま	380	kg	31	11,800		kg		
	ネオビスタN	160	kg	120	19,200		kg		
	消石灰	10	kg	30	300		kg		
	小 計				98,800				
薬 剤 費	アルコール	2.0	ℓ	1,000	2,000		ℓ		
	次亜塩素酸ナトリウム	0.5	ℓ	103	52		ℓ		
	オスパン	0.5	ℓ	540	270		ℓ		
	ベントール	0.1	kg	11,000	1,100		kg		
	マイクロール	0.5	ℓ	4,500	2,250		ℓ		
	小 計				5,672				
光 熱 動 力 費	灯油	400	ℓ	37	14,800		ℓ		
	ガソリン	30	ℓ	90	2,700		ℓ		
	電気料	3,200	kw	20	64,000		kw		
	水道料	58	m ³	240	13,920		m ³		
	小 計				95,420				
修 繕 費	建物・構築物 施設								
	機械・器具								
	小 計								
					247,900				
【 流 通 経 費 】		標 準 値				調 査			
項 目	単価 (円)	数量 (箱)	金額(円)	摘要	単価	数量 (箱)	金額(円)	摘要	
ダンボール箱	46	225	10,400	4kg入冬用					
スチロール箱	125	225	28,100	4kg入夏用					
包装フィルム	1.4	18,000	25,200						
運賃	150	450	47,300						
手数料			82,300	売り上げ金額の11.5%					
計			193,300						

注) 標準値は、「きのこ年鑑 2006年度版」特産情報きのこ年鑑編集部

IV. きのこ栽培経営費と収益調査表8-3
(なめこ:高速栽培 10,000本当り)

【固定資産・減価償却費】		標準値				調査			
固定資産名		取得価格 (千円)	耐用年数	年償却額 (千円)	単位当たり負担額 (円)	取得価格 (千円)	耐用年数	年償却額 (千円)	単位当たり負担額 (円)
建物	作業場	6,060	26	2,019	33,652				
	栽培舎	50,000	26	789	13,154				
	小計	56,060		2,808	46,806				
施設	栽培舎空調施設	28,000	15	921	15,350				
	小計	28,000		921	15,350				
機械・器具	ミキサー(4,300本)	1,590	5	178	1,370				
	ふるい機	400	5	72	550				
	詰め機(ライン一式)	3,800	5	684	5,260				
	高速殺菌釜(5,000本一式)	12,000	8	1,350	10,380				
	自動接種木	2,800	5	504	3,870				
	菌掻き機(ライン一式)	1,400	5	252	1,930				
	加湿器	1,500	8	270	2,070				
	掻き出し機	930	5	167	1,280				
	キャップ洗浄器	380	5	68	520				
	チェーンコンベアー	200	4	45	340				
	収穫機	2,000	8	225	1,730				
	選別機	450	8	51	390				
	計量包装機	3,600	5	648	4,980				
	冷蔵庫	380	6	57	430				
	冷凍ストッカー	150	5	27	200				
	軽トラック	850	4	191	1,460				
	フォークリフト	700	4	158	1,210				
	ビン・キャップ	5,600	5	1,008	7,750				
コンテナ	1,500	5	270	2,070					
小計		40,230		6,225	47,790				
計		124,290		10,708	83,830				

注)標準値は、「きのこ年鑑 2006年度版」特産情報きのこ年鑑編集部

IV. きのご栽培経営費と収益調査表9-1 (まいたけ: 菌床栽培 10,000袋当り)

【設定条件】		標準値	平成 年	平成 年	
1. 経営類型		まいたけ専業経営			
2. 適応地域		群馬、埼玉、栃木			
3. 栽培条件		周年栽培			
4. 規模 年間回転数 年間栽培袋		5回転 260,000袋			
5. 労働力 家族 雇用 合計	2人 8人 10人	時間 時間 時間			
6. 主たる設備、機械 作業場 栽培舎 冷暖房 栽培用機器		100 m ² 1,100 m ² 一式 一式			
7. 主要栽培指標 一栽培期間 A級比率 ロスピン率 1袋収量		70日 %以上 2%以下 500g以上			
区分	【経営費と収益】	標準値	平成 年	平成 年	増減率(%)
	項目	金額(円)	(円)	(円)	
経営費	種菌費	139,230			
	培養基費	427,000			
	諸材料費	200,000			
	薬剤費	1,400			
	光熱・動力費	215,000			
	修繕費(10%)	44,034			
	償却費				
	建物構築物				
	施設	10,898			
	機械・器具	429,445			
	借入金利息	197,813			
	雇用労働費	443,077			
	租税公課	55,388			
	経費合計	2,163,285			
	流通経費	514,500			
手数料	362,600				
流通経費合計	877,100				
計	3,040,385				
租	生産物収量(kg)	4,900			
収	平均単価	642			
益	売上金額	3,145,800			
	所得	105,415			
	1日当り家族労働報酬	4,568			

<備考> (1) 借入金は機械器具の取得額の80%とし、金利年5%とした。

(2) 所得は、3,145,800(円) - 3,040,385(円) = 105,415(円)

この経営モデルの所得は、105415(円/万袋) × 26(万袋) = 2,740,790(円)

注) 標準値は、「きのこ年鑑 2006年度版」特産情報きのこ年鑑編集部 (群馬県林業試験場・川島祐介)

IV. きのこと栽培経営費と収益調査表9-2
(まいたけ:菌床栽培 10,000袋当り)

【 消 耗 財 】		標 準 値				調 査			
区分	品目名	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)	単位当り 使用量	単位	単価(円)	金額(円)
種 菌 費	メーカー種菌	170	本	819	139,230		本		
	小 計				139,230				
料 培 養 材 費	オガコ	50	m ³	6,500	325,000		m ³		
	フスマ	1,400	kg	30	42,000		kg		
	コーンプラン	1,000	kg	60	60,000		kg		
	小 計				427,000				
薬 劑 費	アルコール等	2.0	ℓ	700	1,400		ℓ		
	小 計				1,400				
料 諸 費 材	栽培袋	10,000	枚	20	200,000		枚		
	その他								
光 熱 動 力 費	小 計				200,000				
	灯油(暖房用)	1,800	ℓ	50	90,000		ℓ		
	電気料		kw		100,000		kw		
	水道料		m ³		25,000		m ³		
	小 計				215,000				
修 繕 費	建物・構築物 施設 機械・器具								
	小 計								
計					982,630				

【 流 通 経 費 】		標 準 値			調 査			
項 目	単価 (円)	数量 (箱)	金額(円)	摘要	単価	数量 (箱)	金額(円)	摘要
段ボール箱	50	2,450	122,500					
トレイ等	3	49,000	147,000					
ラップ、シール	2	49,000	98,000					
運賃	30	4,900	147,000					
手数料	74	4,900	362,600					
計			877,100					

注)標準値は、「きのこ年鑑 2006年度版」特産情報きのこ年鑑編集部 (群馬県林業試験場・川島祐介)

IV. きのご栽培経営費と収益調査表9-3 (まいたけ:菌床栽培 10,000袋当り)

固定資産名		標準値					調査				
		取得価格 (千円)	耐用 年数	年償却額 (千円)	負担割合 (%)	平均三 たり負担額 (円)	取得価格 (千円)	耐用 年数	年償却額 (千円)	負担割合	単位当 たり負担額 (円)
建物	作業場 100㎡	525	20	24	3.85	908					
	栽培舎 1,100㎡	5,772	20	260	3.85	9,989					
	小計	6,297		283		10,898					
施設	空調施設	84,877	13	5,876	3.85	226,004					
	小計	84,877		5,876		226,004					
機械・器具	攪拌機	1,870	5	337	3.85	12,946					
	詰め機	730	5	131	3.85	5,054					
	コンベア	150	5	27	3.85	1,038					
	高圧殺菌釜	8,500	5	1,530	3.85	58,846					
	接種木	2,420	5	436	3.85	16,754					
	移動台車	1,000	7	129	3.85	4,945					
	包装機	2,500	5	450	3.85	17,308					
	収穫コンテナ	105	5	19	3.85	727					
	栽培トレー	2,080	5	374	3.85	14,400					
	ショベルローダー	2,000	4	450	3.85	17,308					
	保冷库	3,000	5	540	3.85	20,769					
	栽培棚	12,350	15	741	3.85	28,500					
	袋分離機	700	5	126	3.85	4,846					
小計		37,405		5,290		203,441					
計		128,579		11,449		440,343					

注)標準値は、「きのご年鑑 2006年度版」特産情報きのご年鑑編集部 (群馬県林業試験場・川島祐介)

V. きのこ栽培作業別・月別労働時間診断調査表1(乾しいたけ:原木栽培)

作業名	標準値(設定条件はIV.きのこ栽培経営費と収益調査表1と同条件)		調査					
	労働時間	機械使用時間	作業手順・方法	月別労働時間(時間)	労働時間	機械使用時間	作業手順・方法	月別労働時間(時間)
1 原木伐採玉切	420	300	チェーンソー、人力	1月 588				1月 588
2 木寄せ、植菌	480	200	ほだ木運搬車、発電機、電気トリル、人力	2月 584				2月 584
3 伏せ込み	160	0	人力(裸地伏せ)	3月 644				3月 644
4 伏せ込み地管理	24	24	草刈機	4月 456				4月 456
5 ほだ木搬出、立込み	600	500	草刈機、ほだ木運搬車、軽トラツク、人力	5月 196				5月 196
6 ほだ場管理	200	120	チェーンソー、草刈機、人力	6月 40				6月 40
7 発生操作	180	70	散水ポンプ、人力(散水、倒木)	7月 0				7月 0
8 きのこ採取	896	110	軽トラツク、人力	8月 32				8月 32
9 乾燥・荷造り・出荷	400	972	乾燥機、軽トラツク、人力	9月 160				9月 160
				10月 160				10月 160
				11月 232				11月 232
				12月 268				12月 268
合計	3,360 (338日)	2,296		合計 3,360				合計 3,360

(注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社) (九州大学農学部・佐藤 宣子)

V. きのこ栽培作業別・月別労働時間診断調査表2(生いたけ:原木栽培)

作業名	標準値(設定条件はIV.きのこ栽培経営費と収益調査表2と同条件)		調査	
	労働時間	機械使用時間	月別労働時間(時間)	月別労働時間(時間)
1 植菌・伏込み	600		1月 236	1月
2 育成ほだ木管理	48		2月 281	2月
3 用役ほだ木管理	206		3月 406	3月
4 発生操作・収穫	1,721		4月 387	4月
5 包装・出荷	852		5月 261	5月
6 その他一般管理	23		6月 290	6月
			7月 292	7月
			8月 207	8月
			9月 255	9月
			10月 281	10月
			11月 283	11月
			12月 271	12月
合計 (能力換算日数)	3,450 (338日)		合計 3,450 (388日)	合計

(備考)労働時間は男女同じ労働時間とした。
能力換算日数は女子の労働時間に0.8を乗じた。

(注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、鳥取大学農学部・助教授・古塚 秀太

V. きのこ栽培作業別・月別労働時間診断調査表3(生しいたけ:菌床栽培 培養発生一貫生産タイプ)

作業名	標準労働時間	標準機械使用時間	標準作業手順・方法	調査	
				月別労働時間 (時間)	月別労働時間 (時間)
1 詰準備	40	20	かく拌機	1月	125
2 袋詰・殺菌	100	100		2月	135
3 接種	80	80	接種機	3月	45
4 培養管理	85	0	培地運搬、見回り	4月	179
5 発生処理	30	0	袋はずし	5月	169
6 発生管理	230	0	散水機、芽かき	6月	159
7 収穫	306	0	人力	7月	159
8 選別・包装	380	153	ラツヅ機	8月	170
9 出荷	40	40	軽トラツク	9月	170
10 廃床処理・消毒	20	0		10月	0
				11月	0
				12月	0
合計	1,311 (163.9日)	393		合計	1,311
				内雇用	0

注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター…竹内 嘉江

V. きのこ栽培作業別・月別労働時間診断調査表4(生いたけ:菌床栽培 発生分業生産タイプ)

		標準値(設定条件はIV.きのこ栽培経営費と収益調査表4と同条件)			調査					
作業名	労働時間	機械使用時間	作業手順・方法	月別労働時間(時間)		労働時間	機械使用時間	作業手順・方法	月別労働時間(時間)	
				1月	2月				1月	2月
1 諸準備	5	0	人カ	1月	52				1月	
2 発生処理	10	0	袋はずし(人カ)	2月	52				2月	
3 発生管理	80	0	散浸水、芽かき(人カ)	3月	52				3月	
4 収穫	100	0	人カ	4月	48				4月	
5 選別・包装	100	70	ラック機(人カ)	5月	0				5月	
6 出荷	20	20	軽トラック、人カ	6月	0				6月	
7 廃床処理・消毒	5	0	人カ	7月	0				7月	
8				8月	0				8月	
9				9月	0				9月	
10				10月	0				10月	
				11月	64				11月	
				12月	52				12月	
合計	320 (40.0日)	90		合計	320				合計	
				内雇用	0				内雇用	

注)標準値は「2001年版きのこガイドブック」(農村文化社)、長野県林業総合センター・竹内 嘉江

VI. 栽培工程診断チェックリスト1-1(生しいたけ・原木栽培)

調査 年 月 日

工程	分類		チェック項目	頻度	月	日	チェック
共通事項	水(原水)	水(原水)	◎水源が明らかであるか(水道水・地下水・その他)、上流の環境汚染の有無を確認したか	年 回			
		水質検査	△水道水以外の原水を使用する場合、水質検査を実施したか	年 回			
	作業者	教育・訓練	◎衛生的な取り扱いのための研修を受講し、実践したか	年 回			
	記録の保持	情報提供	◎記録の保持と情報提供等への対応をしたか	随時			
植 菌	原木	受入	◎原木生育場所の環境汚染の有無を確認したか	随時			
			◎産地及び入荷日等の記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	農薬	受入	◎登録農薬を選定・確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
			◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	随時			
		保管	◎農薬の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	農薬散布		◎登録農薬を使用基準どおり使用したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	植菌	受入	◎種菌に関する記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
◎植菌日・ほだ場の区分・作業者などを記録し、その記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】			随時				
ほだ木作り	農薬	受入	◎登録農薬を選定・確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
			◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	随時			
		保管	◎資材や薬剤の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	◎登録農薬を使用基準どおり使用したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】		随時				
農薬散布	◎ほだ木や周辺農作物等への農薬の飛散防止に配慮したか	随時					

※ ◎は推奨項目、△は産地の実態に即した選択項目として、例示しました。

※ 出所は農林水産省「きのこGAP」 http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/pdf/manual/kinoko.pdf

VI. 栽培工程診断チェックリスト1-2(生しいたけ・原木栽培)

調査 年 月 日

工程	分類	チェック項目	頻度	月	日	チェック
発生・収穫	発生舎	発生舎	◎発生舎は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日		
		小動物・衛生昆虫	◎発生、侵入、棲息の痕跡はないか ◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録をつけ、保管したか	月 回/ 毎日		
	増収材	受入	◎購入先に成分を確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時		
		保管	◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	随時		
			◎資材の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時		
		使用基準	◎使用基準どおり使用したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時		
	作業用具(収穫)		◎収穫作業用具の清潔さを確認したか	毎日		
			◎収穫物に異物が混入していないか目視等で確認したか	毎日		
			◎収穫日時・発生場所の区分・作業者などを記録し、その記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	毎日		
	選別・包装	作業者	衛生管理	◎衛生的で清潔な作業衣、帽子、履物を着用したか	毎日	
			◎喫煙・喫食は定められた場所のみとしたか	毎日		
		掃除用具	◎決められた場所に保管し、常時使用できる状態にしたか	毎日		
選別・包装施設		選別・包装施設	◎選別・包装施設内は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日		
			◎封ろうなどの異物が混入していないかを目視などで確認したか	毎日		
			◎選別・包装日・ロット区分、作業者などを記録し、その記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	毎日		
		小動物・衛生昆虫	◎発生、侵入、棲息の痕跡はないか ◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録をつけ、保管したか	月 回/ 毎日		
		容器・包装資材	◎容器・包装資材は、衛生的に管理・保管したか	毎日		
	作業用具・機械	◎作業用具・機械は、定期的なメンテナンスと清掃を実施したか	月 回/ 毎日			
保管・出荷	保管・出荷施設	保管施設(冷蔵庫)	◎保管施設(冷蔵庫)は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日		
			◎設備・器具類は、定期的なメンテナンスと清掃を実施したか	月 回/ 毎日		
			◎計測機器類は、定期的に校正し、その実施記録を残したか	毎日		
			◎収穫日が、区別できるように管理したか	毎日		
			◎保管中の温度を定期的に計測・記録し、その記録を残したか	毎日		
	小動物・衛生昆虫	◎発生、侵入、棲息の痕跡はないか ◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録をつけ、保管したか	月 回/ 毎日			
	容器	◎容器は、衛生的に管理・保管したか	随時			

※ ◎は推奨項目、△は産地の実態に即した選択項目として、例示しました。

※ 出所は農林水産省「きのこGAP」 http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/pdf/manual/kinoko.pdf

VI. 栽培工程診断チェックリスト2-1 (生しいたけ・菌床栽培)

調査 年 月 日

工程	分類	チェック項目	頻度	月	日	チェック	
共通事項	水(原水)	水(原水)	◎水源が明らかであるか(水道水・地下水・その他)、上流の環境汚染の有無を確認したか △水道水以外の原水を使用する場合、水質検査を実施したか	年 回			
		水質検査		年 回			
	作業者	教育・訓練	◎衛生的な取り扱いのための研修を受講し、実践したか	年 回			
	記録の保持	情報提供	◎記録の保持と情報提供等への対応をしたか	随時			
混合攪拌・容器充填・殺菌(培地調製)	培地調整施設 容器充填施設 殺菌・放冷施設 作業用具・機械		◎培地調整剤などの施設は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日			
			◎作業用具・機械は、定期的なメンテナンスと点検を実施したか	月 回/ 毎日			
			◎設備管理記録を付け、その記録を残したか	毎日			
	培地基材	受入	◎培地基材の安全性を確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
		保管	◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか ◎資材の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	栄養材	受入	◎栄養材の安全性を確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
		保管	◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか ◎資材の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	添加材	受入	◎添加材の安全性を確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
		保管	◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか ◎資材の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	農薬	受入	◎登録農薬を選定・確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
		保管	◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか ◎農薬の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
		農薬散布	◎登録農薬を使用基準どおり使用したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	容器(袋)	受入	◎容器(袋)の安全性を確認し、購入伝票などを保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
		保管	◎資材ごとに区分し、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか ◎資材の入出庫管理記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
	種菌接種・培養	接種・培養施設	接種・培養施設	◎接種・培養施設は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか ◎作業用具・機械は、定期的なメンテナンスと点検を実施したか ◎設備管理記録を付け、その記録を残したか	毎日		
			小動物・衛生昆虫	◎発生、侵入、棲息の痕跡はないか ◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録を付け、保管したか	月 回/ 毎日		
施設消毒			◎使用した消毒剤に関する記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】 ◎菌床培地・子実体への付着防止を確認したか	随時			
				随時			

VI. 栽培工程診断チェックリスト2-2(生しいたけ・菌床栽培)

調査 年 月 日

工程	分類		チェック項目	頻度	月	日	チェック
発生・収穫	発生施設	発生施設	◎発生施設は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日			
			◎作業用具・機械は、定期的なメンテナンスと点検を実施したか	月 回/ 毎日			
	発生施設	小動物・衛生昆虫	◎設備管理記録を付け、その記録を残したか	毎日			
			◎小動物・衛生昆虫の発生、侵入、棲息の痕跡はないか	毎日			
	作業用具(収穫)		◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録をつけ、保管したか	月 回/ 毎日			
			◎収穫作業用具の清潔さを確認したか	毎日			
施設消毒		◎収穫物に異物が混入していないか目視等で確認したか	毎日				
		◎収穫日時・発生場所の区分・作業者などを記録し、その記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	毎日				
選別・包装	作業者	衛生管理	◎使用した消毒剤に関する記録を残し、保管したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	随時			
			◎菌床培地・子実体への付着防止を確認したか	随時			
	選別・包装施設	選別・包装施設	◎衛生的で清潔な作業衣、帽子、履物を着用したか	毎日			
			◎喫煙・喫食は定められた場所のみとしたか	毎日			
	選別・包装施設	小動物・衛生昆虫	◎決められた場所に保管し、常時使用できる状態にしたか	毎日			
			◎選別・包装施設内は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日			
	選別・包装施設	小動物・衛生昆虫	◎封ろうなどの異物が混入していないかを目視などで確認したか	毎日			
			◎選別・包装日・ロット区分、作業者などを記録し、その記録を残したか【生産履歴記帳運動などの記録と管理をしたか】	毎日			
	容器・包装資材		◎小動物・衛生昆虫の発生、侵入、棲息の痕跡はないか	毎日			
	作業用具・機械		◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録をつけ、保管したか	月 回/ 毎日			
◎容器・包装資材は、衛生的に管理・保管したか			毎日				
保管・出荷	保管・出荷施設	保管施設(冷蔵庫)	◎作業用具・機械は、定期的なメンテナンスと点検を実施したか	月 回/ 毎日			
			◎保管施設(冷蔵庫)は、整理・整頓・清掃(3S)を実施したか	毎日			
			◎設備・器具類は、定期的なメンテナンスと清掃を実施したか	月 回/ 毎日			
			◎計測機器類は、定期的に校正し、その実施記録を残したか	毎日			
	保管・出荷施設	小動物・衛生昆虫	◎収穫日が、区別できるように管理したか	毎日			
			◎保管中の温度を定期的に計測・記録し、その記録を残したか	毎日			
容器		◎発生、侵入、棲息の痕跡はないか	毎日				
容器		◎防除または駆除したか、小動物・衛生昆虫の管理記録をつけ、保管したか	月 回/ 毎日				
容器		◎容器は、衛生的に管理・保管したか	随時				

※ ◎は推奨項目、△は産地の実態に即した選択項目として、例示しました。

※ 出所は農林水産省「きのこGAP」 http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/pdf/manual/kinoko.pdf

VII. 生産情報公表事例1 (原木栽培 しいたけ)

○表示事項の例					
農産物識別番号 XXXXXXXX 原木しいたけ(生産情報公表農産物) ○○県産 生産情報の公表方法 http://www.xxx.co.jp (またはFAX番号など)					
 登録認定機関					
○公表情報の事例					
農産物識別番号	XXXXXXXXXX				
生産者の氏名及び住所	農林太郎				
生産者の連絡先	電話番号03(1234)5678				
ほ場等の所在地	○○県△△△市□□				
収穫期間	平成○○年○○月○○日～平成○○年○○月○○日				
農薬の用途別分類 種類及び使用回数	用途別分類	種類	使用回数	削減割合	当地の平均使用回数
	殺虫剤	BT剤	1	/	/
		フェニトロチオン(MEP)	1		
	殺菌剤	ベノミル	2		
農薬の使用回数合計			4回	0	回
特定農薬の用途別分類	用途別分類		種類	使用回数	
種類及び使用回数	—		—	—	
肥料の種類及び施肥量	種 類		施 肥 量		
化学肥料の 窒素成分量合計					
土壌改良資材の 種類及び施用量	種 類		施 用 量		
生産者が使用又は 施用したその他の 資材の名称及び目的	培地基材・栄養材(原木<コナラ>) 添加材・増収材(リン酸二水素カリウム)				
<>は任意の記載事項					

出所: 生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック「きのこ」 食品産業センター
http://www.shokusan.or.jp/center_osirase/h18jas-nousan/4-3.pdf

VII. 生産情報公表事例2(菌床栽培 きのこと)

○表示事項の例

農産物識別番号 XXXXXXXX

原木しいたけ(生産情報公表農産物) ○○県産

生産情報の公表方法 <http://www.xxx.co.jp>
(またはFAX番号など)



登録認定機関

○公表情報の事例

農産物識別番号	XXXXXXXXXX
生産者の氏名及び住所	農林太郎
生産者の連絡先	電話番号03(1234)5678
ほ場等の所在地	○○県△△△市□□
収穫期間	平成○○年○○月○○日～平成○○年○○月○○日

農薬の用途別分類 種類及び使用回数	用途別分類	種類	使用回数	削減割合	当地の平均使用回数
	殺菌剤	ベノミル	1	/	/
農薬の使用回数合計			1回	0	回

特定農薬の用途別分類 種類及び使用回数	用途別分類	種類	使用回数
	—	—	—

肥料の種類及び施肥量	種	類	施	肥	量

化学肥料の 窒素分量合計	種	類	施	用	量

土壌改良資材の 種類及び施用量	種	類	施	用	量

生産者が使用又は 施用したその他の 資材の名称及び目的	菌床しいたけの一例 培地基材・栄養材(おがこ<コナラ主体広葉樹>、こめぬか、ふすま) 添加材・増収材(炭酸カルシウム) <菌床>ひらたけの一例 培地基材・栄養材(おがこ<スギ、マツ主体針葉樹>、こめぬか、ふすま、 コーンコブミール、乾燥おから) <菌床>ぶなしめじの一例 培地基材・栄養材(おがこ<ブナ、スギ混合材>、コーンコブミール、ふすま) 添加材・増収材(珪酸アルミニウム) <菌床>はたけしめじの一例 培地基材・栄養材(バーク発酵物、こめぬか、ビール発酵粕) その他:使用目的:覆土(赤玉土)
-----------------------------------	---

注)栽培法として、ひらたけ、ぶなしめじ、はたけしめじ、その他きのこで<菌床>を明記することは、任意事項とされている。
 出所:生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック「きのこ」食品産業センター
http://www.shokusan.or.jp/center_osirase/h18jas-nousan/4-3.pdf

Ⅷ. 栽 培 日 誌 1(原 木 栽 培)

生産者No.		生産者名						
住所						電話番号		
収穫日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
原木	伐採地							
	樹種							
	伐採玉切時期							
	購入日(購入原木)							
菌種	品種名							
	メーカー管理No.							
工程メモ	植菌日(月日~月日)	~	~	~	~	~	~	
	仮伏せ期間(場所)							
	本伏せ期間(場所)							
	工程	種類名	用途別 分類	使用日(使用回数)				
農業	植菌			/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
	仮伏せ			/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
	本伏せ			/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
	発生			/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
増収材	発生			/	/	/	/	/

出所: 生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック「きのこ」 食品産業センター
http://www.shokusan.or.jp/center_osirase/h18jas-nousan/4-3.pdf

Ⅷ. 栽 培 日 誌 2(菌 床 栽 培)

生産者No.		生産者名					
住所						電話番号	
収穫日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
原料	基材	内容	購入先	購入日			
	栄養材						
	添加材						
菌種	品種名						
	保存期間						
培地調整・容器充填日							
工程メモ							
農薬 培地調整	種類名						
	用途別分類						
	使用日	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	
	使用回数						

出所: 生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック「きのこ」 食品産業センター
http://www.shokusan.or.jp/center_osirase/h18jas-nousan/4-3.pdf

Ⅸ. 栽培工程記録1-1(きのこ原木栽培)

平成 _____ 年度 植菌ほだ木

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日作成

生産者名 _____

生産者住所 _____

1. 原木調達工程

区分	主要樹種	産地・業者	伐採・玉切時期	本数
伐採玉切				
原木購入				
その他				
植菌済原木				

2. 植菌工程

植菌後の農薬の使用 (有・無) 有りの場合下記に記帳する

種類名	用途別分類	使用回数	処理年月日	処理対象本数

使用種菌別植菌作業履歴

品種名 (メーカー名)	製造No. 等	種菌形状	植菌年月日 から 植菌完了日	植菌本数	管理No.
		O・K・S	年 月 日 年 月 日		
		O・K・S	年 月 日 年 月 日		

管理No. は生産者が自主的に管理する。

3. ほだ化工程

3-1. 借

伏せ工程

管理No.	刈伏せ場所 林内、ビニールハウス、その他	収容本数	仮伏せ期間 年 月 ~ 年 月	仮伏せ期間中の農薬使用 (有・無)有りの場合下記記帳 種類名、用途別分類、使用回数
			年 月 ~ 年 月	

3-2本伏せ工程

管理No.	刈伏せ場所 林内、ビニールハウス、その他	収容本数	仮伏せ期間 年 月 ~ 年 月	仮伏せ期間中の農薬使用 (有・無)有りの場合下記記帳 種類名、用途別分類、使用回数
			年 月 ~ 年 月	

出所: 食品産業センター『生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック(きのこ)』

Ⅸ. 栽培工程記録1-2(きのこ原木栽培)

平成 年度 植菌ほだ木

平成 年 月 日作成

4. 発生工程

浸水発生・休養履歴

年 月 日～ 年 月 日まで

浸水月 日	管理 No. もしくは 品種名	浸 水 処 理 本 数	増収材 (使用有りの場合下記記帳)			発生舎		休養場所	
			増 収 材 名、内容	メーカ一 名	使用 量 (使用回 数)	設備 No.	収 穫 完 了、休養 移行日	施設	休養中の農薬 使用(使用有の 場合下記記帳) 種類名、用途別分 類、使用回数

5. 収穫・包装工程

年 月 日～ 年 月 日まで

包装月日	収穫ほだ木 管理 No.	収穫月日・受入日	収量 (参考)	備 考

6. ほだ場、発生施設配置図

生産者住所と異なる場合、施設所在場所

出所: 食品産業センター『生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック(きのこ)』

Ⅸ. 栽培工程記録2-1(きのこ菌床栽培)

平成 年 月 日作成

生産者名 _____

生産者住所 _____

1. 原料工程

1-1 培地基材・栄養材

樹木由来の資材：おがこ、チップ、バーク発酵物、廃ほだ、廃菌床（樹木由来資材50%以上使用）等

資材名	内容（樹種等）	購入先	購入月日	購入量	生産者管理 No.

農産物由来の資材：コーンコブ、コーンコブミル、農産発酵物、米ぬか、ふすま、とうもろこしぬか、大豆油粕、小麦粉、マイロ粉、ビール発酵粕、おから、麦わら、綿実殻、豆皮、ビートパルプ、バガス、廃菌床（農産物由来資材50%以上使用）等

資材名	購入先	購入月日	購入量	生産者管理 No.

畜産物由来の資材：厩舎敷きわら等

資材名	購入先	購入月日	購入量	生産者管理 No.

水産物由来資材：海草、カキ殻、カニ殻等

資材名	購入先	購入月日	購入量	生産者管理 No.

1-2 添加材・増収材

〔炭酸カルシウム、乳酸、炭酸マグネシウム、天然鉱物（個別名称を記載）等〕

資材名	使用目的	購入先	購入月日	購入量	生産者管理 No.

1-3 その他：覆土材等上記資材の範疇に入らない資材を具体的に記入

資材名	内容（樹種等）	購入先	購入月日	購入量	生産者管理 No.

2. 培地調製・容器充填工程

農薬（使用した場合下記に記載）

種類名（有効成分濃度）	用途別分類	使用月日	使用回数

容器〔使用容器（瓶・袋・箱）と1瓶当りの充填量〕

容器（瓶・袋等）	充填月日	充填量/個	備考

出所：食品産業センター『生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック(きのこ)』

IX. 栽培工程記録2-2(きのこ菌床栽培)

平成 年 月 日作成

生産者名 _____

生産者住所 _____

3. 殺菌・放冷・接種工程

菌種: _____

品種名	業者名	メーカー管理 No.	購入年月日	生産者管理 No.

4. 菌床培養工程

年 月 日から 年 月 日

製造管理 No.							
接種月日							
樹木由来の資材							
農産物由来の資材							
畜産物由来の資材							
その他資材							
添加材・増収材							
その他							
培地調整での承認農薬の使用							
菌種	品種名						
	生産者管理 No.						
接種数							
培養完了数							
その他特記事項							

5. 菌掻き、原基形成工程

管理 No.	原基形成、芽だし処置方法 (菌掻き、袋カット、注水等)	処置月日	処置数量

6. 収穫、包装工程

年 月 日から 年 月 日まで

包装月日	収穫菌床ロット No.	収穫月日・受入日	収量 (参考)	備考

出所: 食品産業センター『生産情報公表農産物JAS規格ガイドブック(きのこ)』

X. 経営力チェックリスト(きのこ栽培経営)

年 月 日

1. 経営者	得 点		
①外部環境(経営、農政)変化への対応に取り組む姿勢は、積極的ですか	5	3	1
②現状改革に努めていますか	5	3	1
③経営理念や将来像などを文書にして従業員(家族)に明示していますか	5	3	1
④常に従業員(家族)との意思の疎通を図っていますか	5	3	1
⑤経営目標や経営方針は毎年見直してレベルアップを図っていますか	5	3	1
⑥従業員の協力体制は十分ですか(家族の経営参加・協力体制は十分ですか)	5	3	1
⑦経営問題について専門家やJA指導員と相談して解決を図っていますか	5	3	1
⑧環境保全や省資源対策に積極的に取り組んでいますか	5	3	1
⑨後継者育成に取り組んでいますか	5	3	1
⑩地域社会やJAとの連携に努め共存共栄を図っていますか	5	3	1
得点計			

2. 経営基本			
①経営目標・経営計画(長期・短期)を樹立していますか	5	3	1
②全ての業務にPDCA(計画・実施・チェック・改善行動)サイクルを実施していますか	5	3	1
③品質表示などで消費者の安全・安心ニーズに十分対応していますか	5	3	1
④従業員(家族)が経営全般について改善提案活動を行える雰囲気になっていますか	5	3	1
⑤新技術や経営情報の習得に努め経営改善に生かしていますか	5	3	1
⑥気象条件に対応して、省力化機器や新しいノウハウの導入で生産性向上に努めていますか	5	3	1
⑦常に経営資源(土地・労働力・農業投資)の有効活用を考慮していますか	5	3	1
⑧パソコンによる事務記帳、作業日誌等による経営分析を行っていますか	5	3	1
⑨生産高、損益、生産性を品目別に把握して業績向上に活用していますか	5	3	1
⑩資金調達、省力化投資などの資金運用計画は立てられていますか	5	3	1
得点計			

3. 販売管理			
①経営目標に沿って生産・販売計画を立案していますか	5	3	1
②市場情報を的確に掴み、生産・販売に反映されていますか	5	3	1
③過去の各々の販売実績を分析して、常に新しい販売計画を立案していますか	5	3	1
④ブランドを構築する努力をしていますか	5	3	1
⑤販売経路、販売促進、販売方法を考慮していますか	5	3	1
⑥販売先との情報交換からデータ分析し改善策を実施していますか	5	3	1
⑦消費者の意見を生産品作りに生かしていますか	5	3	1
⑧販売価格と生産費を常に意識し改善していますか	5	3	1
⑨競争産地の品質、価格を把握し、対抗戦略を考えていますか	5	3	1
⑩JA共販、市場外販売など出荷形態は適切ですか	5	3	1
得点計			

4. 生産管理			
①生産計画は、長期計画・短期計画別に立てられていますか	5	3	1
②生産計画は従業者(家族)間で協議して作成されていますか	5	3	1
③マーケット動向や消費者ニーズを考慮した生産計画になっていますか	5	3	1
④作物別の年間作業標準は作られ、それを守っていますか	5	3	1
⑤土地や設備利用の効率化に努めていますか	5	3	1
⑥肥料、栄養分、農薬などの低使用を検討し、実施していますか	5	3	1
⑦作目は自然や経済条件(環境)の特性を生かしていますか	5	3	1
⑧適期作業、適期管理が行われていますか	5	3	1
⑨農業機械の導入活用(自家用、委託)は適切ですか	5	3	1
⑩資材情報を常に収集し、低コストになるよう計画的に購入していますか	5	3	1
	得点計		

5. 労務管理			
①繁忙期の人手対策を講じていますか	5	3	1
②新入者や未熟練者に対して教育は十分実施していますか	5	3	1
③目標労働時間が決められていて、目標に近づく努力をしていますか	5	3	1
④家族協定に就業規則や服務規程があり、守られていますか	5	3	1
⑤労災・社会保険・農業者年金に加入していますか	5	3	1
⑥従業者(家族)の年1回健康診断を実施していますか	5	3	1
⑦給与制になっていますか	5	3	1
⑧作業者の安全労働衛生基準があり、これが適切に実行されていますか	5	3	1
⑨従業員、組合員の福利厚生にも充分力をいれていますか	5	3	1
⑩意思の疎通、苦情処理にも努めて風通しの良い職場の雰囲気が出ていますか	5	3	1
	得点計		

6. 財務管理			
①経営と家計は分離できていますか	5	3	1
②複式簿記による記帳を行っていますか	5	3	1
③会計処理はパソコンソフトを使って、事務の効率化を図っていますか	5	3	1
④減価償却費に関する知識を持っていて、内容を理解していますか	5	3	1
⑤財務諸表の内容を理解していますか	5	3	1
⑥借入金の返済計画に沿って、キャッシュフローを把握していますか	5	3	1
⑦制度融資を上手に活用していますか	5	3	1
⑧受取債務、支払債務は適切に管理されていますか	5	3	1
⑨青色申告を行っていますか	5	3	1
⑩固定資産への過剰な投資は行っていませんか	5	3	1
	得点計		

